

ご挨拶

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、皆様方に当金庫の経営方針や最近の業績、営業内容をより深くご理解していただくため「AISHIN REPORT 2024」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

日本経済は、新型コロナの分類が「5類感染症」への移行を契機に、正常化へ向けた動きが進み、事業者の景況感は改善し景気回復への期待が高まっております。一方で課題も多く、深刻な物価高や慢性的な人手不足、国外においてもウクライナや中東などの地政学的リスクの高まりや、中国経済の減速懸念など、政治経済情勢は不確実性が高い状態が続いており、事業者の方々の大きな課題となっております。

金融政策においては、日銀の金融正常化に向けた足取りは着実に進み、令和6年3月にはマイナス金利政策を含む大規模緩和の解除を決定し、17年ぶりの利上げに踏み切ったことにより、市場金利の上昇を招いており、金融機関においては、有価証券運用におけるリスク量の拡大が懸念される状況となっております。また、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策やサイバーセキュリティ対策など、様々なリスク対応が金融機関に求められており、リスク管理の高度化が共通した課題となっております。

こうした中、当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者にあっては、コロナ融資の返済が本格化し、コスト高が重なったことにより、相談を受けることなく事業継続を断念するケースも見受けられ、地元企業を支える地域金融機関としては、これまで以上に果たすべき役割が重要となっております。

令和6年度は、「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する」という相互扶助の精神のもと、令和4年度よりスタートした3か年経営計画「CONNECT～あいしんから繋げよう!～」が最終年度を迎えます。「繋げる」を基本ビジョンに掲げ、様々な施策に取り組んでまいりました。成果が問われる年度であり、役職員が一丸となり施策の着実な実践に取り組む方針です。また、地域密着という営業スタイルのもと、これまでの「資金繰り支援」のみならず、事業先が抱える様々な課題を早期に把握し、事業先の実情に応じた効果的なソリューションを提供することにより、経営改善支援や事業再生支援への取組を一層強化する方針に努めてまいります。

何卒、今後とも会員各位の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長

本多 英明

2024年7月

